

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

アジア経済概況（2006 年 9 月）

【目次】

．中華圏・韓国

- 1 ．中国経済の概況・・・輸出・投資主導の景気拡大が続く ... p . 1
- 2 ．中国の主要指標解説：輸入構造の変化
～ 機械類が5割を超え、原料別製品輸入の伸びが鈍化傾向 ... p . 3
- 3 ．台湾経済の概況・・・4～6 月期の成長率は内需低迷で 4.6% に鈍化 ... p . 4
- 4 ．韓国経済の概況・・・輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復が続く ... p . 5

．ASEAN・インド

- 1 ．タイ経済の概況・・・4～6 月期の成長率は内需低迷で 4.9% に鈍化 ... p . 6
- 2 ．インドネシア経済の概況・・・4～6 月期は財政支援で 5.2% 成長 ... p . 7
- 3 ．マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p . 8
- 4 ．インド経済の概況・・・内外需の堅調を背景に景気の拡大続く ... p . 9
- 5 ．ASEAN 経済の注目点：4～6 月期の実質 GDP 成長率：
マレーシア 5.9%、フィリピン 5.5% ... p . 10

．アジア通貨・株価動向 ... p . 11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

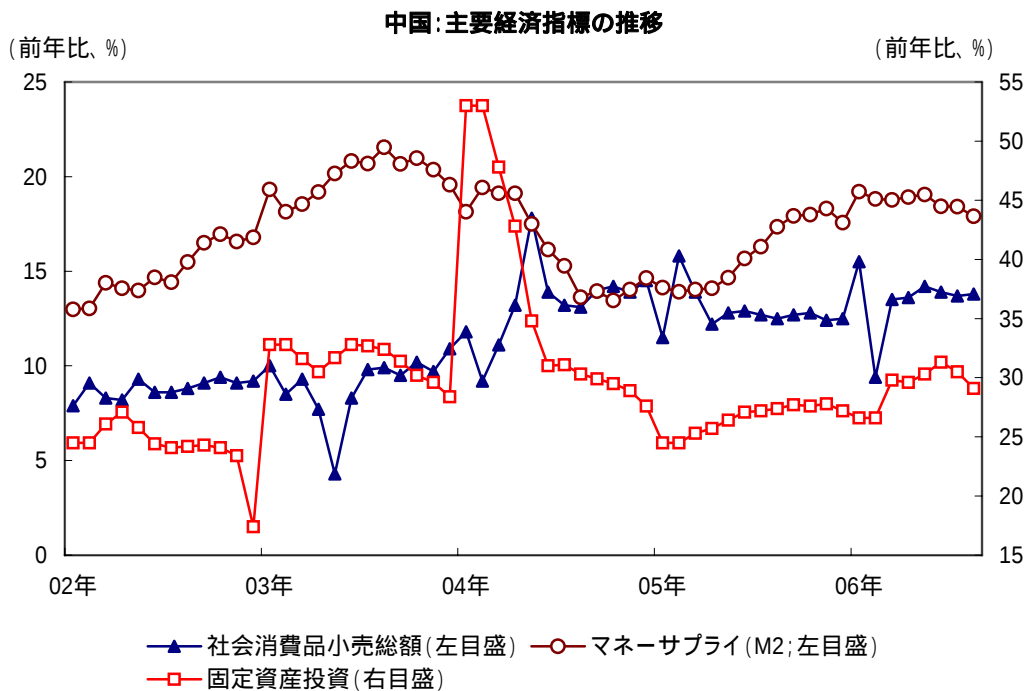
野田（E-Mail：mariko.noda@murc.jp）

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 輸出並びに投資主導の景気拡大が続いている。1～8月期の固定資産投資（都市部）の伸び率は前年同期比 29.1%と 1～7月期(同 30.5%)比 1.4%ポイント鈍化した。前月に比べて増加率がやや鈍化したものの、依然として前年比約 3 割増の高水準で推移している。
- ・ また、8月の輸出は機械・輸送機械類を中心に前年同月比 32.7%増と大幅に増加。輸入も同 24.5%増と堅調な伸びとなったものの、8月の貿易収支は 188 億ドルと前月（146 億ドル）を大幅に上回る黒字となった。この結果、9月には年初来の累計黒字額が昨年 1 年間の黒字額を上回るのはほぼ確実と見られる。
- ・ 一方、消費も 8 月前年同月比 13.8%増と堅調に推移しているが、同月の鉱工業生産は同 15.7%増と前月（同 16.7%増）比 1%ポイント鈍化した。輸出や消費が堅調に推移していることから、投資の鈍化が主因と見られる。また、マネーサプライ(M2)の増加率も 8 月は同 17.9%と前月（同 18.4%）から 0.5%ポイント鈍化している。
- ・ 他方、消費者物価上昇率は食品価格の安定を背景に景気拡大の持続にもかかわらず、8 月も前年同期比 1.3%と安定した水準で推移している。



(注) 固定資産は年初からの累計の前年比、04年以降は都市部・投資額50万元以上のみ。
(出所) CEIC 他

【中国・香港の主要経済指標】

			2003年	2004年	2005年	05/3Q	05/4Q	06/1Q	06/2Q	06/5月	06/6月	06/7月	06/8月
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%			9.8	9.9	10.3	11.3				
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	10.0	10.1	10.2	9.9	10.2	10.3	10.9			
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	12.9	17.7	14.5	14.1	14.5	14.3	14.3			
		うち市	前年比%	9.0	13.3	12.9	12.6	12.6	12.8	13.9	14.2	13.9	13.7
		うち県	前年比%	14.9	20.6	19.0	16.2	13.3	13.5	14.6	15.0	14.7	14.2
		うち県以下	前年比%	12.7	18.6	16.4	12.8	12.3	11.5	13.8	14.1	13.7	13.3
		自動車販売台数	前年比%	9.2	12.8	15.8	13.4	10.5	11.6	11.8	11.8	11.6	12.3
		うち乗用車	前年比%	33.5	16.9	13.8	15.5	20.8	36.7	18.3	21.7	7.8	7.8
		消費者自信指数	期中平均	71.5	19.3	21.5	32.0	35.8	66.6	32.6	34.3	16.2	11.9
		消費者期待指数	期中平均	93.1	92.9	94.2	94.4	93.9	94.1	93.9	93.8	94.1	94.0
				92.4	91.7	95.1	95.3	95.4	96.1	96.5	96.3	96.8	96.6
	投資	固定資産投資(都市部・50万円以上;累計ベース)	前年比%	28.4	27.6	27.2	27.7	27.2	29.8	31.3	30.3	31.3	30.5
		うち不動産・居住用建物	前年比%	29.7	25.3	19.6	19.5	19.6	26.3	31.4	28.6	31.4	32.4
		うち国内企業	前年比%				28.4	28.5	31.2	32.4	31.6	32.4	31.5
		うち製造業	前年比%				36.1	38.6	36.3	38.6	37.1	38.6	38.1
		うち鉄鋼	前年比%				23.4	27.5	▲ 2.2	2.3	8.5	2.3	1.2
		うち輸送機械	前年比%				47.7	51.1	43.8	44.5	45.9	44.5	40.8
		うち電気機械	前年比%				51.5	44.9	69.5	68.2	71.5	68.2	62.5
		うち情報通信機器	前年比%				19.1	18.2	33.7	38.7	35.8	38.7	40.1
		直接投資契約額(累計ベース)	前年比%	39.0	33.4	23.2	21.8	23.2	n.a.	2.7	n.a.	2.7	
		直接投資実行額(累計ベース)	前年比%	1.4	13.3	19.4	▲ 2.1	19.4	6.4	▲ 0.5	2.8	▲ 0.5	▲ 1.2
	貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	107.1	105.8	101.9	101.7	100.8	101.1	102.1	101.9	102.9	103.5
		輸出(ドルベース)	前年比%	34.6	35.4	28.4	29.1	21.7	26.5	24.0	25.1	23.3	22.5
		輸入(ドルベース)	前年比%	39.9	35.8	17.7	19.6	22.1	24.9	18.5	21.6	18.7	19.4
		対米貿易収支	10億ドル	58.6	80.3	114.2	32.1	33.0	28.6	33.7	10.9	12.1	11.9
		対日貿易収支	10億ドル	▲ 14.8	▲ 20.7	▲ 16.4	▲ 5.1	▲ 5.4	▲ 4.0	▲ 5.8	▲ 1.3	▲ 2.6	▲ 2.7
		外貨準備	期末10億ドル	403.3	609.9	818.9	769.0	818.9	875.1	941.1	925.0	941.1	954.5
	生産	鉱工業付加価値額	前年比%	16.7	16.3	15.9	16.2	16.4	15.9	18.0	17.9	19.5	16.7
		うち国有企業	前年比%	14.1	13.7	10.7	11.2	9.6	8.8	13.3	13.6	15.4	12.7
		うち株式企業	前年比%	18.0	16.6	17.3	17.7	16.9	16.3	19.3	19.4	21.3	18.5
		うち外商・港台企業	前年比%	19.6	18.5	15.8	16.7	17.6	18.5	18.5	17.9	19.0	15.5
		在庫額	前年比%	10.1	20.2	21.0	21.5	21.0	20.9	8.3	16.6	16.4	18.3
		うち鉱物	前年比%	▲ 2.8	20.8	42.4	40.6	45.0	43.7	22.9	47.4	44.0	39.0
		うち素材	前年比%	8.6	25.4	27.1	29.2	27.8	22.9	9.2	16.1	16.2	19.8
		うち機械	前年比%	17.9	19.5	16.7	16.2	15.5	16.1	5.6	13.3	13.5	15.2
		発電量	前年比%	14.2	15.0	13.4	13.6	11.8	13.4	13.2	13.0	14.7	15.5
				12.0	11.8	11.8	12.4	10.8	12.4	11.2	11.7	10.6	11.3
	所得 雇用	都市一人当たり所得	前年比%	11.9	7.2	8.8	10.3	10.6	10.1	5.0	8.2	7.9	8.5
		鉱工業雇用者数	前年比%										
		労働力市場求人倍率	期末	0.88	0.94	0.96	0.97	0.96	0.96				
		製造業/全産業求人比率	期末%	31.6	31.9	30.8	32.0	30.8	36.6				
	物価	消費者物価指数	前年比%	1.2	3.9	1.8	1.3	1.4	1.2	1.4	1.4	1.5	1.0
		うち食品	前年比%	3.4	10.0	2.9	1.2	1.7	1.9	1.9	1.9	2.1	0.6
		うち家庭設備・家庭用品	前年比%	▲ 2.6	▲ 1.4	▲ 0.1	0.2	0.5	0.6	0.9	0.8	1.2	1.4
		生産者物価指数	前年比%	2.3	6.1	4.9	5.0	3.5	2.9	2.6	2.4	3.5	3.6
	金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	19.6	14.9	16.3	17.2	18.0	18.9	18.8	19.1	18.4	18.4
		インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	2.17	2.10	1.43	1.21	1.34	1.46	1.59	1.43	1.69	2.06
		株価指数(上海総合)	期末	1,497	1,267	1,161	1,156	1,161	1,298	1,672	1,641	1,672	1,613
		為替レート(元/ドル)	期中平均	8.28	8.28	8.19	8.14	8.08	8.05	8.01	8.00	7.99	7.97
		為替レート(円/元)	期中平均	14.0	13.1	13.4	13.7	14.5	14.5	14.3	13.9	14.3	14.5
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	3.2	8.6	7.3	8.2	7.5	8.0	5.2			
		うち民間消費	前年比%	▲ 0.9	7.3	3.4	3.6	3.4	4.5	5.0			
		うち固定資本形成	前年比%	0.9	3.0	4.1	2.8	8.4	7.6	4.3			
		名目GDP成長率	前年比%	▲ 3.4	4.7	7.0	8.4	8.2	7.9	5.1			
	消費	小売販売数量指数	前年比%	▲ 0.6	9.1	5.9	5.1	4.4	4.6	6.8	2.0		
		不動産価格指数	前年比%	▲ 12.0	26.7	18.0	20.3	8.1	1.8	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 1.3	▲ 2.6
		うち家屋160㎡超(香港島)	前年比%	▲ 0.2	44.9	21.5	20.7	7.1	15.5	▲ 6.3	▲ 4.9	3.4	20.9
	不動産	不動産販売取引件数(香港域内)	前年比%	▲ 2.8	40.6	2.7	9.4	▲ 31.7	▲ 28.7	▲ 41.6	▲ 37.3	▲ 33.5	▲ 28.0
	貿易	貿易収支	10億HKドル	▲ 66.5	▲ 93.7	▲ 81.4	▲ 11.3	▲ 17.4	▲ 36.9	▲ 42.8	▲ 14.6	▲ 13.8	▲ 5.2
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	11.6	15.8	11.4	12.5	10.0	12.2	5.2	▲ 0.1	6.7	10.7
		輸入(香港ドルベース)	前年比%	11.6	16.8	10.3	11.5	11.3	13.7	7.8	2.5	9.9	11.4
	物価	消費者物価指数	前年比%	▲ 2.6	▲ 0.4	1.1	1.4	1.8	2.0	2.7	2.9	2.8	2.9
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	8.3	8.6	5.2	8.2	5.2	8.6	11.3	17.7	11.3	11.5
		ハンセン指数	期末%	12,576	14,230	14,876	15,429	14,876	15,805	16,268	15,858	16,268	16,971

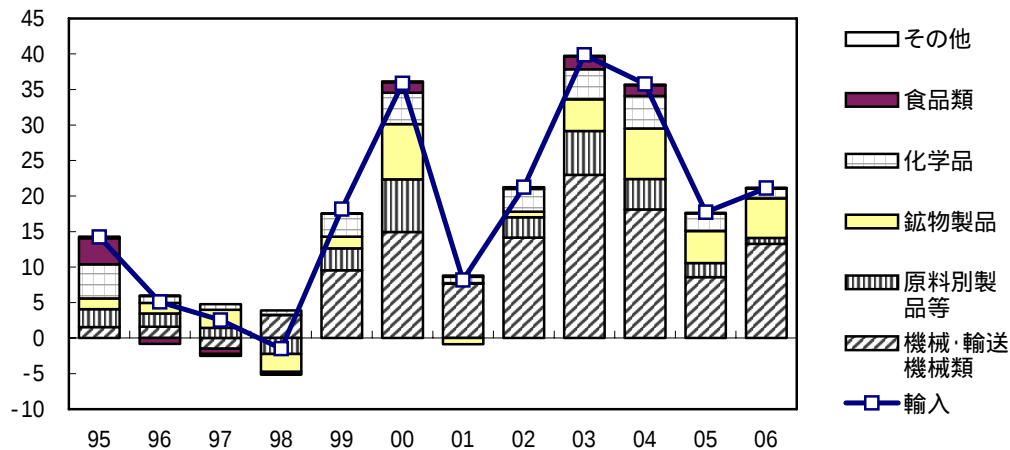
(出所) CEIC 他 (注) 不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

2. 中国の主要指標解説：輸入構造の変化

～ 機械類が5割を超え、原料別製品輸入の伸びが鈍化傾向

- ・ 最近の中国の輸入動向を品目別の輸入伸び率寄与度でみると、活発な投資を反映し、機械類の寄与度が一貫して最も高い。次いで資源価格上昇の影響から鉱物製品の寄与度が高まっている（図表1）。
- ・ これを輸入シェアの推移で見ると、輸入に占める機械類の割合が02年以降50%を上回って推移しており、中国の生産能力が今後もさらに拡大することが予想される（図表2）。実際、中国国内の生産能力の拡大を反映して、鉄鋼や繊維などの製品類や化学品の輸入伸び率寄与度は徐々に低下しており、輸入に占めるシェアは縮小傾向にある。こうした輸入代替の進展は中国の貿易黒字体質をさらに強める可能性があり、消費の高度化などを通じた輸入拡大策が今後の課題となろう。

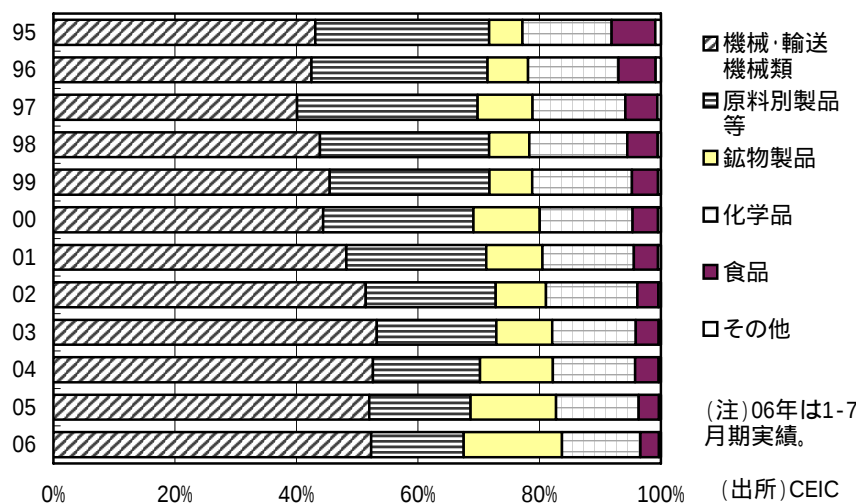
（前年比、%） 図表1. 中国の品目別輸入動向～機械類、鉱物製品の輸入拡大が続く



（出所）CEIC

（注）06年は1-7月期実績。

図表2. 中国の輸入構造：近年、機械類の輸入が5割を占める

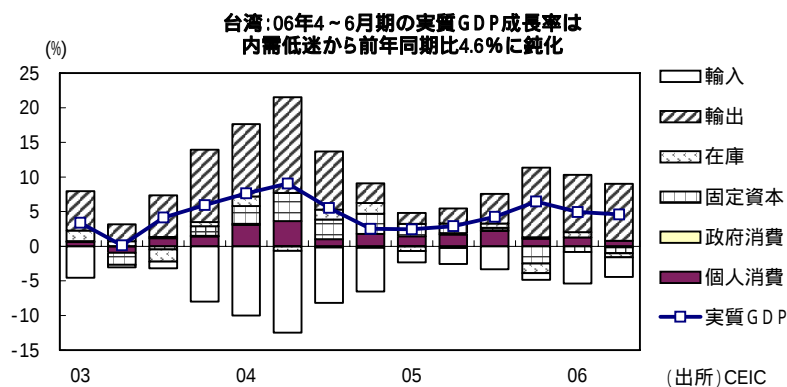


（注）06年は1-7月期実績。

（出所）CEIC

3. 台湾経済の概況

- ・ 4～6 月期の実質 GDP 成長率は、内需の低迷から前年同期比 4.6%と前期（4.9%）に比べて小幅鈍化した。原油価格の高騰に加えて、カードローン債務の延滞増加を受け、銀行が消費者向け貸出を抑制したあおりで個人消費が低迷している。さらに高速鉄道など大型プロジェクト関連の投資がピークを過ぎたことから民間投資も前年比マイナスで推移している。
- ・ しかし、景気の牽引役である輸出は依然として堅調に推移している。8 月の輸出は半導体など電子製品を中心に前年同月比 16.6%増となった。中国など主要マーケットの堅調な需要を背景に、4 月以降は前年比二桁増の拡大が続いている。
- ・ 他方、8 月の消費者物価上昇率は前年同月比 ▲0.6%と約 2 年半ぶりに前年比マイナスとなった。これは昨年、天候不順により高騰した反動で野菜や果物の価格が前年比大幅マイナスとなっているためである。一方、8 月の卸売物価上昇率は原油価格上昇などから前年同月比 9.0%と高水準で推移している。



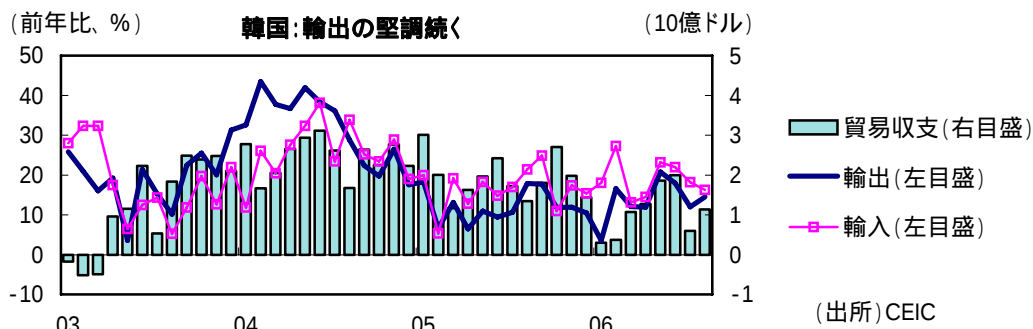
台湾の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/5月	06/6月	06/7月	06/8月
GDP (yoy)	実質 GDP	3.4	6.1	4.0	4.2	6.4	4.9	4.6				
	うち民間消費	0.9	3.9	2.7	3.7	2.0	2.0	1.4				
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	▲ 0.9	17.5	1.2	1.8	▲ 10.9	▲ 4.8	▲ 4.2				
		▲ 0.3	31.0	▲ 0.2	0.4	▲ 16.7	▲ 5.0	▲ 2.8				
生産	鉱工業生産(yoy)	7.1	9.8	4.1	4.8	9.1	8.3	6.9	8.9	5.8	7.9	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	763.0	440.6	497.3	109.5	266.5	106.9	133.9	20.7	37.7	56.8	38.0
	輸出(yoy)	11.3	21.1	8.8	7.1	14.2	11.9	13.9	10.4	16.5	21.2	16.6
	輸出受注(yoy)	12.6	26.5	19.2	17.8	23.4	21.2	21.6	26.0	20.6	19.4	
	輸入(yoy)	13.0	31.8	8.2	9.8	1.0	9.3	9.7	12.3	11.9	17.5	17.1
	経常収支(10億ドル)	29.3	18.5	16.1	0.9	9.1	5.9	4.7				
	外貨準備高(10億ドル)	207	242	253	254	253	257	260	261	260	260	261
雇用	失業率(季節調整済み)	5.0	4.4	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	
物価 金融	消費者物価(yoy)	▲ 0.3	1.6	2.3	3.0	2.5	1.3	1.5	1.6	1.7	0.8	▲ 0.6
	マネーサプライ(M2,yoy)	5.8	7.4	6.5	6.4	6.5	6.1	5.7	7.1	5.7	5.1	
	株価指数(加権指数)	5,891	6,140	6,548	6,119	6,548	6,614	6,704	6,847	6,704	6,455	6,612
	短期金利(オーバーナイト)	1.12	1.04	1.30	1.34	1.39	1.45	1.52	1.52	1.53	1.59	1.59
	為替レート(NTドル/ドル)	34.4	33.4	32.2	32.3	33.5	32.3	32.2	31.8	32.5	32.6	32.8
	為替レート(円/NTドル)	3.37	3.24	3.42	3.44	3.50	3.62	3.56	3.52	3.53	3.55	3.54

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いている。8月の輸出は前年同月比14.5%増と前月（同12.0%増）から持ち直した。自動車および自動車部品の輸出は依然としてストの影響で不振であったが、石油製品、半導体、一般機械の好調がこれを上回った。この結果、貿易収支の黒字幅も前月の6億ドルから11億ドルに拡大した。7月の経常収支は貿易黒字幅の縮小と旅行収支の赤字拡大から赤字に転じたが、貿易黒字幅の拡大で経常収支の赤字拡大を回避できる可能性が高まったと見られる。
- ・ 一方、集中豪雨と猛暑の影響による農産品価格の高騰から8月の消費者物価上昇率は前年同月比2.9%に加速した。さらに9月1日には原油高を背景に都市ガス料金の再引き上げが行なわれており、当面、インフレ圧力の高い状態が続くことが予想される。しかし、9月7日の中銀金融通貨委員会は景気回復基調は続くとしながらも、生産鈍化などから景気鈍化懸念が広がる中、政策金利の据え置き（4.5%）を決めた。



韓国の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/5月	06/6月	06/7月	06/8月
GDP (yoy)	実質 GDP	3.1	4.7	4.0	4.5	5.3	6.0	5.4				
	うち民間消費支出	▲ 1.2	▲ 0.3	3.2	4.0	4.1	4.9	4.4				
	うち固定資本形成	4.0	2.1	2.3	2.3	4.7	3.8	0.8				
	うち設備	▲ 1.2	3.8	5.1	4.6	10.0	7.1	7.2				
生産	鉱工業生産 (yoy)	5.3	10.2	6.2	7.2	10.4	12.1	11.0	12.1	10.9	4.4	
消費	小売売上高 (数量, yoy)	▲ 1.8	▲ 0.7	3.6	3.3	6.0	3.5	5.2	4.9	6.2	4.2	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支 (10億ドル)	15.0	29.4	23.2	4.9	6.1	1.7	5.1	1.9	2.0	0.6	1.1
	輸出 (yoy)	19.3	31.0	12.0	15.4	11.4	10.6	16.9	20.7	17.9	12.0	14.5
	輸入 (yoy)	17.6	25.5	16.4	21.1	14.6	19.0	19.9	23.1	22.0	18.2	16.3
	経常収支 (10億ドル)	11.9	28.2	16.6	2.6	5.4	▲ 1.1	0.7	1.4	0.9	▲ 0.2	
	外貨準備高 (10億ドル)	155	199	210	207	210	217	224	225	224	226	227
雇用	失業率 (季節調整済み)	3.4	3.5	3.5	3.4	3.3	3.7	3.2	3.0	3.2	3.2	3.2
物価	消費者物価 (yoy)	3.5	3.6	2.8	2.4	2.5	2.4	2.3	2.4	2.6	2.3	2.9
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	3.0	5.9	7.0	6.5	7.0	6.6	7.7	7.1	7.7	7.7	
	株価指数 (総合)	811	896	1,379	1,221	1,379	1,360	1,295	1,318	1,295	1,298	1,353
	為替レート (ウォン/ドル)	1,192	1,140	1,023	1,032	1,031	972	951	947	960	953	960
	為替レート (円/100ウォン)	9.6	9.5	10.8	10.9	11.4	12.1	12.0	11.9	12.1	12.0	12.2
	C/Dレート (3ヵ月物)	4.31	3.79	3.65	3.57	3.98	4.22	4.39	4.36	4.47	4.63	4.68

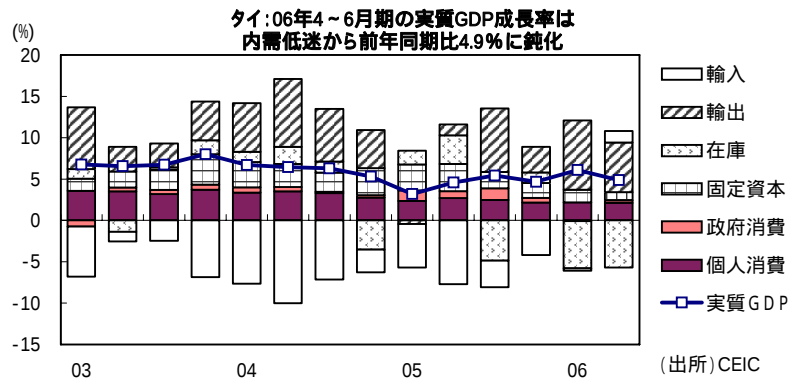
(出所) CEIC

(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- 4～6月期の実質GDP成長率は内需の低迷を背景に前年同期比4.9%に鈍化した。原油高や金利高の影響から個人消費が低迷したほか、政局不安から企業が投資を控える一方で前期に続き在庫調整を進めた結果、成長率が押し下げられた。
- 一方、輸出は電子製品など工業品や米やゴムなど農産品を中心に堅調な拡大が続いており、7月の輸出は前年同月比17.2%増となった。
- 他方、8月の消費者物価上昇率は石油製品や生鮮食品価格の上昇テンポが一服したことから前年同月比3.8%と前月(4.4%)からさらに沈静化した。このため、中銀金融政策委員会は7月に続き、9月も政策金利(14日物レポ金利)を5.0%で据え置くことを決めた。



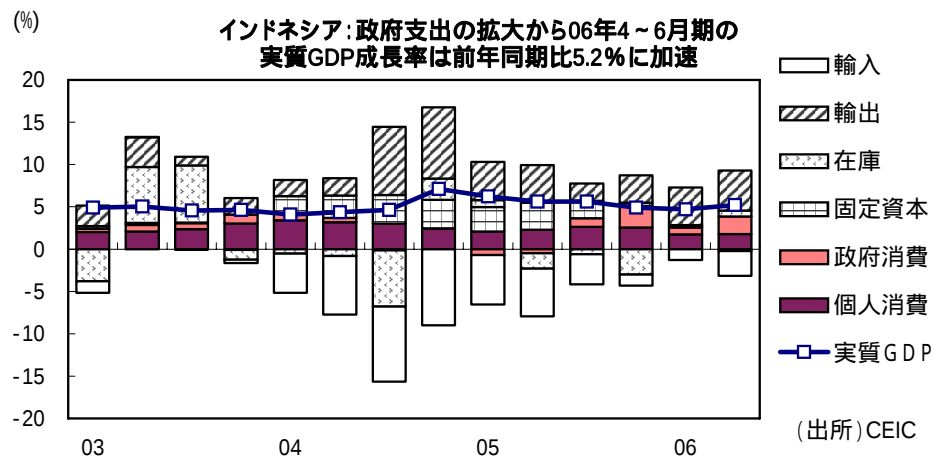
タイの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/5月	06/6月	06/7月	06/8月
GDP (yoy)	実質GDP	7.0	6.2	4.5	5.4	4.7	6.1	4.9				
	民間消費	6.4	5.9	4.4	4.5	4.1	4.1	3.7				
	総固定資本形成	12.1	13.8	11.4	8.4	8.1	6.6	3.9				
生産	製造業生産指数(yoy)	13.9	11.8	9.1	11.6	7.1	9.7	6.5	9.2	6.2	6.0	
消費	総合消費指数(yoy)	5.4	4.0	0.6	0.3	0.9	1.2	0.8	1.6	▲ 0.1	2.6	
投資	民間企業投資指数(yoy)	13.6	11.6	7.8	8.7	4.3	4.1	1.1	1.6	0.4	3.3	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	5.0	2.5	▲ 7.3	0.7	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 1.6	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.2	
	輸出(yoy)	17.4	20.6	14.9	22.1	11.5	17.3	16.4	18.8	18.2	17.2	
	輸入(yoy)	16.8	25.3	25.7	20.9	20.2	6.7	3.3	6.4	3.0	17.9	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.0	6.9	▲ 3.7	1.2	0.9	1.7	▲ 1.2	▲ 0.9	0.1	0.3	
	外貨準備高(10億ドル)	42.1	49.8	52.1	49.8	52.1	55.3	58.1	57.7	58.1	58.8	59.4
雇用	失業率(季調前)	2.2	2.1	1.9	1.4	1.5	1.9	1.7	1.4	1.5	1.1	
物価	消費者物価(総合,yoy)	1.8	2.8	4.5	5.6	6.0	5.7	6.0	6.2	5.9	4.4	3.8
	消費者物価(コア,yoy)	0.1	0.4	1.6	2.2	2.4	2.6	2.8	2.7	2.7	2.0	1.9
金融	M2増(%)	4.9	5.4	8.2	6.6	8.2	11.8	11.4	12.7	11.4	10.0	
	商銀貸出残高(yoy)	3.6	6.7	8.1	4.1	8.1	7.8	8.6	7.8	8.6	6.5	
	不良債権比率(3M基準,%)	12.7	10.7	8.2	9.9	8.2	8.0	8.2				
	株価指数(SET)	772	668	714	723	714	733	678	709	678	691	691
	為替レート(円/US\$)	41.5	40.2	40.2	41.3	41.0	39.3	38.1	38.0	38.3	38.0	37.6
	為替レート(円/TH\$)	2.8	2.7	2.7	2.7	2.9	3.0	3.0	2.9	3.0	3.1	3.1
	インターバンク金利(3M)	1.56	1.62	3.28	3.53	4.37	4.82	5.32	5.30	5.40	5.40	5.40

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 4～6月期の実質 GDP 成長率は政府支出の大幅拡大から前年同期比 5.2%と前期(同 4.7%)から持ち直した。昨年 10 月の燃料価格の大幅引き上げを契機とする高インフレと高金利を背景とした内需の低迷は最悪期を脱しつつあるようだ。また、7 月の輸出は鉱物、電子機器、ゴム・ゴム製品などを中心に、前年同月比 23.3%増と前月(同 23.1%増)に続き高い伸びとなっている。
- ・ 一方、8 月の消費者物価上昇率は前年同月比 14.9%と、前月(15.2%)から一段と低下した。物価安定化の兆しが見えてきた中で 9 月 5 日、中銀は 5 月、7 月、8 月に続いて 4 度目となる政策金利(中銀短期証券 1 カ月物)の引下げ(0.50%pt; 11.75% → 11.25%)を決めた。



インドネシアの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/5月	06/6月	06/7月	06/8月
GDP (yoy)	実質 GDP	4.8	5.1	5.6	5.6	4.9	4.7	5.2				
	民間消費支出	3.9	5.0	4.0	4.4	4.2	2.9	3.0				
	総固定資本形成	0.6	14.6	9.9	9.4	1.8	0.9	▲ 1.0				
生産	製造業生産(yoy)	5.5	3.3	1.3	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 6.4	1.3				
消費	小売売上(yoy)	7.0	7.3	16.0	10.6	0.8	▲ 21.1	▲ 14.9	▲ 10.4	▲ 8.9		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	28.5	25.1	28.0	6.6	9.1	9.1	8.9	3.3	2.8	3.4	
	輸出(yoy)	6.8	17.2	19.7	12.0	13.9	12.9	17.4	16.5	23.1	23.3	
	(除く石油ガス,yoy)	5.2	18.0	18.8	8.1	10.7	11.4	17.4	13.8	24.8	22.4	
	輸入(yoy)	4.0	42.9	24.0	22.8	6.3	▲ 1.9	4.4	3.0	17.6	8.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	n.a.	1.6	0.3	▲ 1.1	0.6	2.6	2.0				
	外貨準備高(10億ドル)	36.3	36.3	34.7	30.3	34.7	40.1	40.1	44.3	40.1	41.1	42.0
物価	消費者物価(yoy)	6.8	6.1	10.5	8.4	17.8	16.9	15.5	15.6	15.5	15.2	14.9
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	8.1	8.1	16.4	16.6	16.4	17.1	16.8	18.3	16.8	14.7	
	株価指数(総合)	692	1,000	1,163	1,079	1,163	1,323	1,310	1,330	1,310	1,352	1,431
	為替レート(北アドル)	8,571	8,985	9,751	10,123	9,985	9,233	9,098	9,220	9,300	9,070	9,100
	為替レート(円/100北ア)	1.35	1.20	1.13	1.10	1.17	1.27	1.26	1.21	1.23	1.28	1.27
	中銀貸金(3ヵ月)	10.17	7.39	9.16	8.98	12.58	12.86	12.35	12.16	12.16	12.16	11.36

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、04年5月以降、国際収支の集計方法が一部変更され、それ以前とは不連続。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/5月	06/6月	06/7月	06/8月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.5	7.2	5.2	5.3	5.2	5.5	5.9				
	民間消費	6.6	10.5	9.2	10.4	9.0	7.5	7.3				
	総固定資本形成	2.7	3.1	4.7	9.6	0.4	11.4	7.6				
生産	鉱工業生産(yoy)	9.3	11.3	4.1	4.6	5.5	5.8	6.1	6.7	7.0	7.3	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	21.4	21.2	26.4	6.2	7.6	6.9	6.3	2.2	2.2	2.5	
	輸出(yoy)	11.6	20.5	11.4	8.3	13.3	13.7	14.1	13.1	10.5	16.0	
	輸入(yoy)	4.8	25.9	8.9	9.4	8.1	16.0	16.2	11.8	11.4	10.2	
国際収支	経常収支(10億ドル)	13.3	14.9	20.0	18.5	16.9	19.8					
	外貨準備高(10億ドル)	45	67	70	80	70	74	79	79	79	79	
雇用	失業率(%)	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	3.8					
物価	消費者物価(yoy)	1.1	1.4	3.1	3.4	3.4	3.8	4.1	3.9	3.9	4.1	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	11.1	25.4	15.4	24.2	15.4	15.2	11.2	14.8	11.2	12.7	
	貸出残高(yoy)	5.2	26.0	17.5	27.0	17.5	22.2	13.7	23.0	13.7	14.5	
	不良債権比率(3M基準,%)	8.9	7.5	5.8	6.1	5.8	5.7	5.5	5.6	5.5	5.4	
	株価指数(総合)	794	907	900	928	900	927	915	928	915	936	958
	為替レート(リギ/\$)	3.80	3.80	3.79	3.77	3.78	3.73	3.65	3.62	3.66	3.67	3.68
	為替レート(円/リギ)	30.5	28.5	29.1	29.5	31.0	31.4	31.4	30.9	31.3	31.6	31.5
	インターバンク金利(3M,%)	3.13	2.94	2.90	2.89	3.03	3.47	3.86	3.85	3.92	3.90	3.81

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は05年以降、2000年 = 100基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/5月	06/6月	06/7月	06/8月
GDP (yoy)	実質 GDP	4.9	6.2	5.0	4.8	5.3	5.7	5.5				
	民間消費支出	5.3	5.8	4.9	4.9	5.0	5.6	5.2				
	固定資本形成	3.8	1.3	▲ 3.9	▲ 0.0	▲ 4.6	0.3	▲ 5.4				
生産	鉱工業生産(yoy)	0.0	1.0	2.2	0.2	6.1	▲ 8.1	▲ 7.6	▲ 5.7	▲ 4.3		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	▲ 4.2	▲ 4.4	▲ 6.2	▲ 1.7	▲ 1.3	▲ 0.3	▲ 1.6	▲ 0.6	▲ 0.5		
	輸出(yoy)	2.9	9.5	4.0	5.0	3.5	14.0	19.5	17.3	20.6	12.9	
	輸入(yoy)	3.1	8.8	7.7	10.2	12.9	6.0	10.5	17.1	7.7		
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.3	1.6	2.4	0.3	1.1	1.2					
	外貨準備高(10億ドル)	14.1	14.6	17.7	17.7	17.7	20.0	20.5	20.3	20.5	20.8	
物価	消費者物価(yoy)	3.5	6.0	7.7	7.1	6.9	7.3	6.9	6.9	6.7	6.4	6.3
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	3.3	9.4	9.0	14.3	9.0	7.2	12.2	11.4	12.2		
	株価指数(総合)	1,442	1,823	2,096	1,942	2,096	2,196	2,179	2,296	2,179	2,391	2,312
	為替レート(ペソ/ドル)	54.4	56.2	55.0	56.1	54.0	51.9	52.7	52.7	53.6	51.6	50.9
	為替レート(円/ペソ)	2.13	1.93	2.00	1.98	2.17	2.25	2.17	2.12	2.14	2.24	2.28
	TB(3ヵ月,%)	5.87	7.32	6.10	5.71	5.48	5.02	5.36	4.84	6.50	6.08	5.38

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

【シンガポールの主要経済指標】

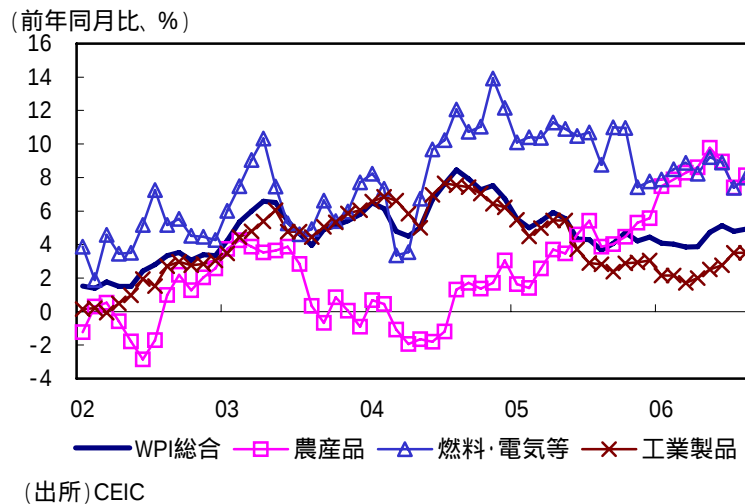
		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/5月	06/6月	06/7月	06/8月
GDP (yoy)	実質 GDP	2.9	8.7	6.4	7.6	8.7	10.8	8.1				
	民間消費	0.9	5.9	2.5	1.2	4.0	2.3	4.2				
	総固定資本形成	▲ 3.2	10.2	▲ 1.9	▲ 6.8	15.0	10.1	11.1				
生産	鉱工業生産(yoy)	3.0	13.5	9.4	12.6	14.7	20.8	12.1	9.1	22.3	20.9	
消費	小売売上指数(yoy)	8.7	13.2	9.0	10.2	7.9	8.0	11.4	17.7	10.3		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	23.7	25.0	29.6	7.9	9.2	8.9	7.4	2.1	2.6	1.8	
	輸出(yoy)	27.8	24.2	15.6	14.5	18.5	23.0	22.4	17.6	21.6	13.6	
	輸入(yoy)	17.0	27.4	15.2	14.3	17.5	19.7	23.6	24.3	20.8	18.5	
国際収支	経常収支(10億ドル)	22.3	26.3	33.3	15.8	16.0	15.0	16.3				
	外貨準備高(10億ドル)	96	113	117	116	117	122	129	129	129	130	131
雇用	失業率(季調,%)	4.0	3.4	3.1	3.2	2.6	2.6	2.9				
物価	消費者物価(yoy)	0.5	1.7	0.5	0.5	1.1	1.4	1.2	1.1	1.4	1.1	
金融	マネーサプライ(M2,%)	8.1	6.2	6.2	8.3	6.2	8.1	11.1	12.1	11.1	10.7	
	株価指数(ストリート)	1,765	2,066	2,347	2,305	2,347	2,533	2,435	2,384	2,435	2,445	2,482
	為替レート(\$/\$)	1.742	1.690	1.665	1.676	1.688	1.628	1.590	1.577	1.591	1.583	1.576
	為替レート(円/\$)	66.5	64.0	66.2	66.4	69.5	71.8	72.0	70.8	72.1	73.1	73.6
	インターバンク金利(3M,%)	0.74	1.05	2.29	2.15	3.02	3.40	3.48	3.44	3.56	3.56	3.50

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

4. インド経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。7月の輸出は前年同月比 34.8% 増と大幅に拡大。また 8月の国内乗用車販売も同 16.0% 増と堅調であった。こうした内外需の好調を背景に生産も堅調な増加ペースが続いている。7月の鉱工業生産は前年同月比 12.4% 増と大幅な伸びとなった。
- ・ 一方、原油価格の上昇に加えて、大雨・洪水の影響による農産品価格の上昇からインフレ圧力が高まっている。また、景気拡大を反映して貸出の伸びも高水準で推移している。こうした中でインド準備銀行（中銀）が 10月に予定されている金融政策見直し会議で 7月に続いて政策金利（リバースレポ金利）の再引き上げを行なう可能性が高まっていると見られている。

インド：依然として続くインフレ圧力(卸売物価)



インドの主要経済指標

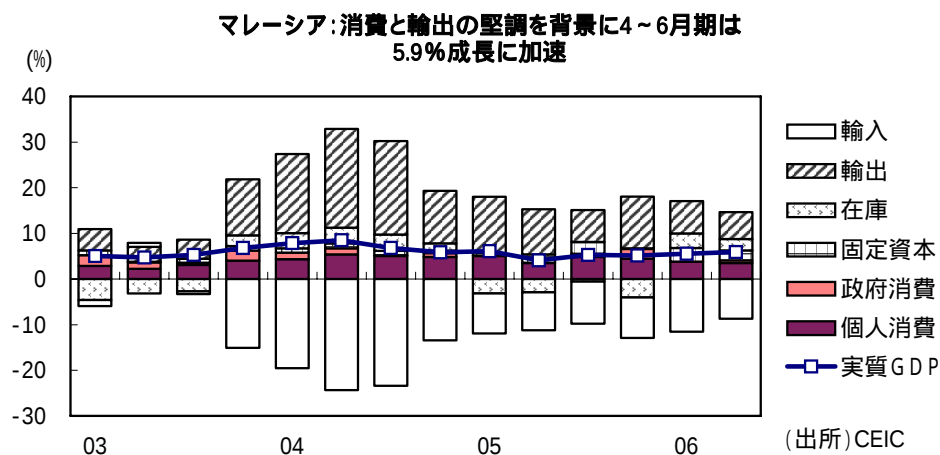
		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/5月	06/6月	06/7月	06/8月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.3	7.3	8.2	8.4	7.5	9.3					
	農業生産	5.2	2.8	2.9	4.0	2.9	5.5					
	実質 GDP (年度)	8.5	7.5	8.4								
	農業生産 (年度)	10.0	0.7	3.9								
生産	鉱工業生産(yoy)	6.6	8.5	7.9	6.5	7.1	8.7	10.0	11.1	9.0	12.4	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	▲ 13.7	▲ 21.7	▲ 39.7	▲ 11.7	▲ 9.5	▲ 7.9	▲ 11.6	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 4.0	
	輸出(yoy)	16.7	31.5	27.5	33.9	22.8	27.9	18.6	15.8	25.1	34.8	
	輸入(yoy)	26.0	36.5	40.0	49.5	24.0	20.4	16.0	8.1	22.4	24.2	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	8.8	1.4	▲ 11.9	▲ 5.0	▲ 3.8	1.8					
	外貨準備高 (10億ドル)	97.6	125.2	131.0	136.9	131.0	145.1	156.0	156.1	156.0	156.4	158.0
物価	卸売物価(yoy)	5.3	6.6	4.7	4.0	4.5	4.0	4.6	4.7	5.1	4.8	4.9
	消費者物価(yoy)	3.7	3.9	4.0	3.6	4.7	5.0	6.4	6.1	7.9	6.9	
金融	マネーサプライ (M3, yoy)	13.0	12.8	17.9	18.1	17.9	21.2	18.1	18.3	18.1	19.5	19.8
	株価指数(BSE Sensitive)	5,839	6,603	9,398	8,634	9,398	11,280	10,609	10,399	10,609	10,744	11,699
	為替レート (円/ドル)	46.5	45.2	44.1	43.8	45.4	44.4	45.8	46.4	46.1	46.5	46.6
	為替レート (円/ルピー)	2.49	2.39	2.50	2.54	2.58	2.63	2.50	2.41	2.5	2.5	2.5
	T B 3ヶ月	4.92	4.70	5.43	5.39	5.81	6.49	5.83	5.74	6.36	6.44	6.40

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、年度は4月から翌年3月

5 . A S E A N 経済の注目点 ～ 4 ～ 6 月期の実質 G D P 成長率：マレーシア5.9%、フィリピン5.5%

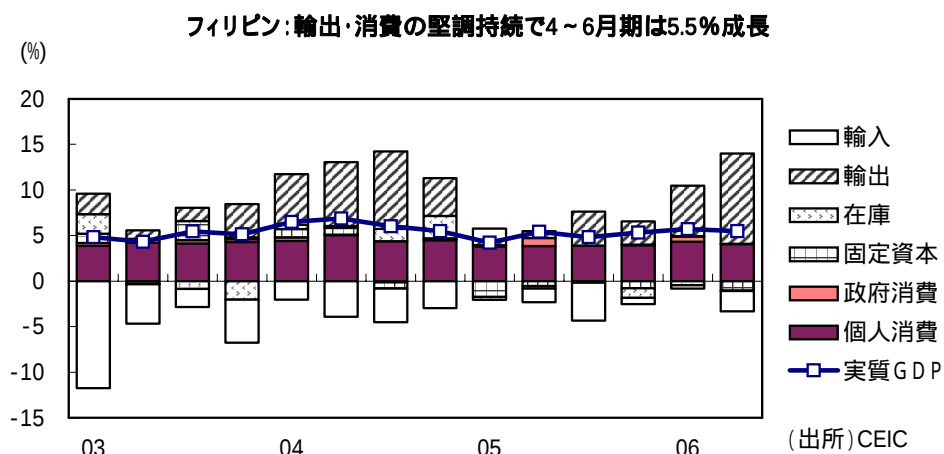
< マレーシア >

- ・ 4～6月期の実質 G D P 成長率は前年同期比5.9%と前期（同5.5%）から加速した。利上げや物価高にもかかわらず一次産品価格の上昇や輸出の好調を背景に可処分所得の伸びが続いたことから個人消費が堅調に推移したほか、資源関連製品などを中心に輸出の好調が持続した。
- ・ なお、年後半には第9次マレーシア計画に基づく公共投資の拡大が予定されており、民間部門の堅調が見込まれる中、マレーシア経済は好調を持続すると見られている。



< フィリピン >

- ・ 4～6月期の実質 G D P 成長率は前年同期比5.5%とほぼ前期（同5.7%）並みの拡大持続となった。牽引役は電気機器、半導体、衣類などを中心に拡大が続く輸出である。またソフトウェア開発などのサービス輸出も拡大が続いている。一方、出稼ぎ労働者からの送金増加を背景に個人消費も堅調に推移している。

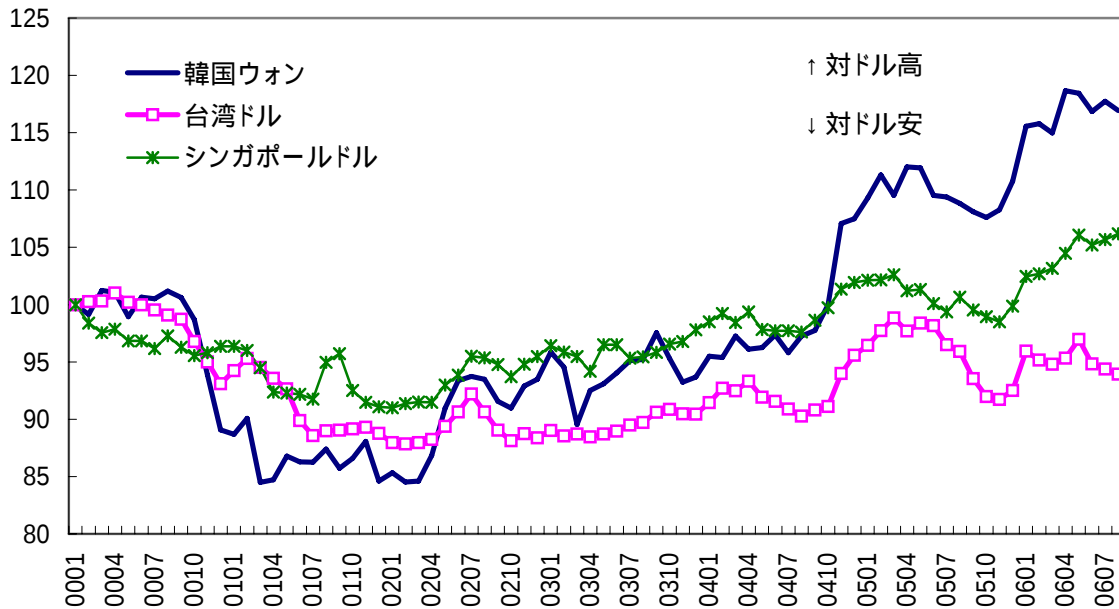


アジア通貨・株価動向

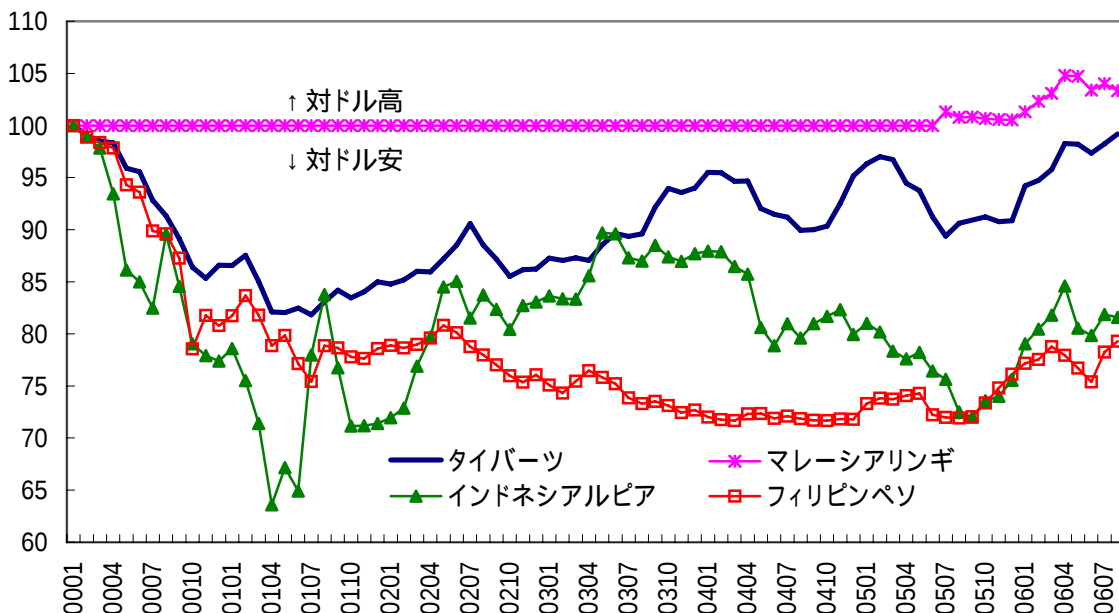
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

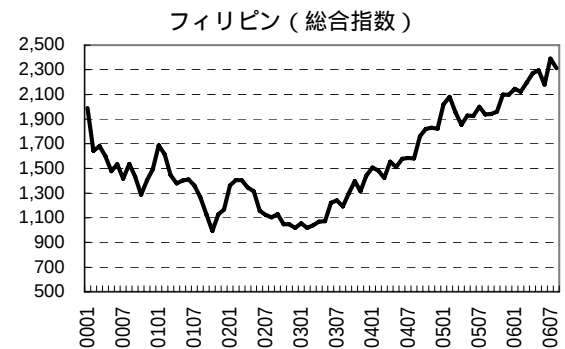
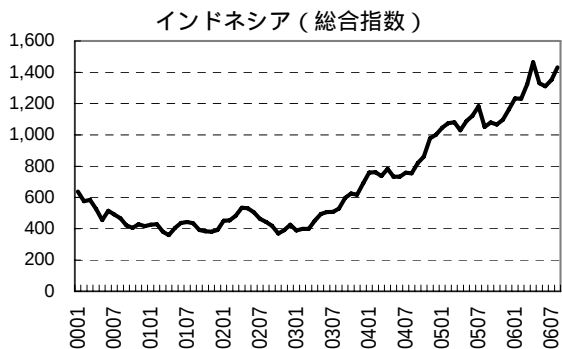
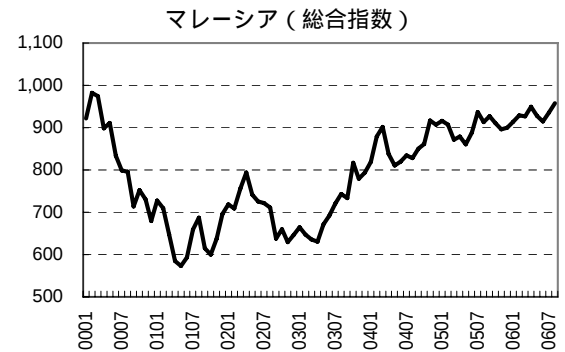
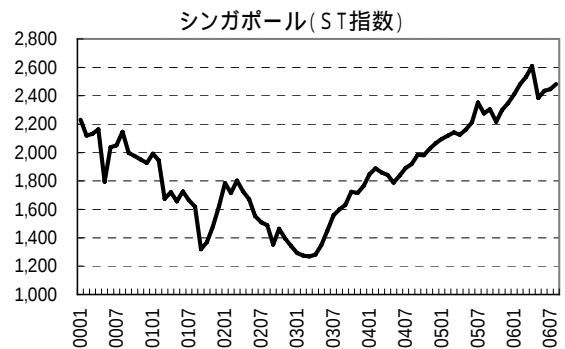
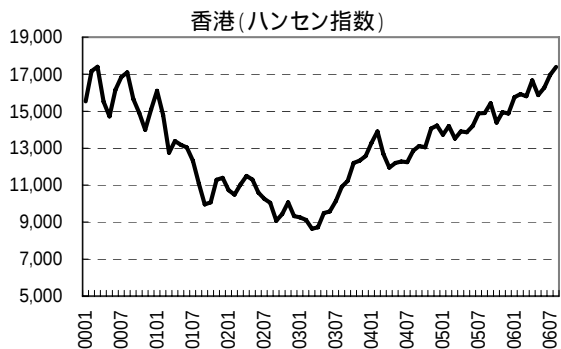
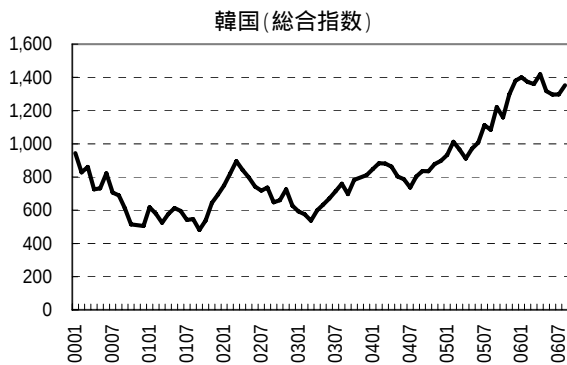


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向



(出所) CEIC

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。